

アメリカ地質調査所（United States Geological Survey; USGS）は、アメリカ合衆国内務省の傘下にある研究機関である。1879年に設立され、水文学、生物学、地質学、地理学の4つの学問分野について、合衆国領内を中心に、自然景観、天然資源、および同国を脅かし得るナチュラル・ハザード（自然現象）を対象とする調査・研究を行っており、同国の地形図および地質図の作成業務も担当している。定期的に調査レポートを公開する。

## <USGS レポート>

### アメリカ及び世界のアンモニア生産と消費（2025）

2025年1月発表

2025年2月翻訳

#### 一、アメリカ国内のアンモニア生産と消費

2024年、アメリカの国内メーカー18社は17州の37工場に於いてアンモニアを生産している。ほかに2つのプラントが年間を通じてずっと休止状態にあり、稼働しなかった。国内アンモニア生産能力の約55%はルイジアナ州、オクラホマ州、テキサス州に集中している。その理由はこの3州にはアンモニアの主要原料である天然ガスが豊富に埋蔵されているからである。

2024年アメリカ国内アンモニアプラントの平均稼働率が約80%。アメリカは世界有数のアンモニア生産国と消費国の一つである。国内生産されたアンモニアは、その供給先の数量順に尿素、硝安、硝酸、りん安及び硫安の製造に使われている。

アメリカ国内に消費されたアンモニアの88%は肥料用途である。アンモニアはそのままの状態ですぐに施用のほか、尿素、硝安、りん安およびその他のアンモニアを原料とする窒素肥料に使われている。また、アンモニアは爆薬、プラスチック、合成繊維および樹脂、その他の多種多様な化学品の製造にも使われている。

表1. アメリカのアンモニア生産量、輸入・輸出量、使用量などのデータ

項 目	2020 年	2021 年	2022 年	2023 年	2024 年 <sup>*e</sup>
生産量（万トン） <sup>*1</sup>	1,400	1,270	1,380	1,380	1,400
輸入量（万トン）	199	208	193	172	180
輸出量（万トン）	36.9	23.1	71.9	89	88
見かけの消費量（万トン） <sup>*2</sup>	1,570	1,460	1,480	1,470	1,500
年末在庫量（万トン）	31	27	44	35	44
FOB 平均価格（ドル／トン） <sup>*3</sup>	213	578	1,070	470	440
全産業の雇用数（人） <sup>*e</sup>	1,600	1,600	1,600	1,600	1,600
消費量に占める輸入の割合（%） <sup>*4</sup>	11	13	7	6	6

アンモニアのリサイクル：なし

アンモニアの輸入元（2020～2023 年）：トリニダード・トバゴ 51%、カナダ 47%、その他の国 2%

輸入関税：	品目：	アンモニア	尿素	硫安	硝安
	税番：	2814.10.0000	3102.10.0000	3102.21.0000	3102.30.0000
	関税：	無税	無税	無税	無税

減耗控除制度：適用されない

政府備蓄：無し

## 二、 特記事項

2024 年天然ガスのヘンリーハブ（Henry Hub）スポット価格は年間を通じて 1.25～3.25 ドル／百万英熱量の範囲に推移し、平均では約 2.10 ドル／百万英熱量であった。2024 年の天然ガス価格は天然ガス在庫量が平年より増加したうえ、平年より冬季の天候が暖かいため、2023 年より安くなっている。なお、アメリカエネルギー省エネルギー情報局は、2025 年天然ガスのヘンリーハブスポット価格が平均で 3.10 ドル／百万英熱量と予測している。

2024 年初頭のメキシコ湾岸のアンモニア週平均価格は、478 ドル／ショートトンであったが、5 月下旬には 364 ドル／ショートトンに下落し、9 月下旬に再び 510 ドル／ショートトンに上昇した。年間のアンモニア平均価格は約 440 ドル／ショートトンと推定される。

アメリカ国内天然ガスは長期にわたって低価格を安定的に維持しているため、企業は既存アンモニアプラントのアップグレードおよび新規アンモニアプラントの建設が経済的な観点では可能となった。生産能力の増加によりアンモニアの輸入量が減少した。今後 5 年間にわたり、アメリカのアンモニア産業の拡大により、脱炭素化アンモニアプロジェクトを含め、年間約 140 万トンの生産能力が増加されると予想されている。

世界のアンモニア生産能力は、今後 4 年間で合計 7%増加すると予想されている。アジア、東ヨーロッパ、北米など低コストの天然ガスが供給できる地域ではアンモニア生産能力の増加が期待される。生産能力増強の一環として、脱炭素化アンモニアプロジェクトがいくつかの国で提案されているが、実際に主に北米で行われている。ラテンアメリカと南アジアは肥料用アンモニア消費量の増加が見込まれている。

アメリカではトウモロコシの大量栽培により窒素肥料の継続的な需要が維持されている。アメリカ農務省によれば、アメリカのトウモロコシ農家は、2024 作物年度（2023 年 7 月 1 日～2024 年 6 月 30 日）に 3,700 万ヘクタールのトウモロコシを栽培し、2023 作物年度より栽培面積が 3%減少した。なお、トウモロコシの収益性がほかの作物より低いと予想され

ているため、2025 作物年度のトウモロコシ栽培面積が減少するだろうと予測される。

### 三、世界のアンモニア生産状況

世界各国のアンモニア生産量は表 2 に示す。

表 2. 世界のアンモニア生産量（万トン）

国 名	2023 年	2024 年 <sup>*e</sup>
アメリカ	1,380	1,400
アルジェリア	200	200
オーストラリア	130	130
カナダ	360	360
中国	4,700	4,700
エジプト	450	500
ドイツ	172	170
インド	1,530	1,500
インドネシア	580	600
イラン	420	420
マレーシア	140	140
オランダ	200	200
ナイジェリア	170	170
オマーン	200	200
パキスタン	350	350
ポーランド	156	160
カタール	305	310
ロシア	1,400	1,400
サウジアラビア	540	540
トリニダード・トバゴ	322	320
ウズベキスタン	130	130
ベトナム	144	140
その他の国	1,230	1,300
世界合計	15,200	15,000

註：上記リストに載っているすべての国にとっては、大気中の窒素とアンモニア原料用の天然ガスの供給が十分満足されると考えられる。

**世界資源量 \*5：** アンモニアは大気中の窒素を固定させるものであるため、大気中の窒素

量が無尽蔵である。窒素の鉍物資源としてはチリのアタカマ砂漠で見られるような硝酸ナトリウムと硝酸カリウム鉍物（チリ硝石）があるものの、世界の窒素供給にはほとんど寄与していない。

**代替品：**窒素は植物の必須栄養素であり、それに代わる代替品がない。また、窒素系爆薬や爆破材についても実用的な代替品は知られていない。

**注釈：**

\*e：推定値

\*1. 出典：肥料研究所。アメリカ地質調査所が調整したデータ。

\*2. 消費量 = 生産量 + 輸入量 - 輸出量 + 業界在庫変動量。

\*3. 出典：グリーンマーケット。

\*4. 消費量に占める輸入の割合（%）=（輸入量 - 輸出量 + 業界の在庫変動量）÷ 消費量。

\*5. 資料およびデータソースなどに関する情報については、付録 C を参照してください。

米国地質調査所、鉍物商品の概要、2025 年 1 月